



北村 あや子 区政ニュース

荒川区庁舎建て替え200億円→570億円(想定) 財源不足で整備スケジュール延期を検討



9月1日委員会で、荒川区「財政フレーム2025年度決算版」についての報告がありました。

学校・庁舎・公共施設整備、駅前再開発など目白押し…問われる優先順位

問題は、区役所の整備(建替え)費用が、2023年想定200億円から570億円に跳ね上がったことです。2028年まで、南千住図書館・ふるさと文化館、特別養護老人ホームの改修をはじめ、2つの駅前再開発や公園の整備など、大規模な建設事業が続くため「財源不足」が増加。2028年以降、小中学校

整備費570億円 積算根拠

延べ床38,000㎡×@113万円
= 429億4千万円

※今後の物価上昇など想定し
570億円と試算

※2023年時点は、㎡単価73万円
大幅な建設費上昇が要因

区本庁舎の整備計画 (区の財政フレームに基づく財源)

2023年の想定 整備費200億円				→	2026年の想定 整備費570億円					
	2023年度 ⇒ 2030年度		工事期間		34年度		2027年度 ⇒ 2037年度		工事期間	41年度
建替基金	基金積み立て		竣工		竣工	建替基金	基金積み立て		竣工	竣工
	12.5億円 ⇒ 100億円						20億円 ⇒ 220億円			
	毎年12.5億円ずつ積み立て						毎年20億円ずつ積み立て			
200億円の構成＝①基金100億円 ②起債50億円③民間活力活用50億円				570億円の構成＝①基金285億円 ②起債145億円③一般財源145億円						

※スケジュールはあくまで仮定…

建替え関連経費や本庁舎建替えが重なり、さらに財源不足が拡大するとしています。区は現行の本庁舎建替え計画の延期・2041年竣工の案を示し、その下での財政計画を示しました。

庁舎基金・毎年20億円を11年間220億円積立!

庁舎建設のために来年度から毎年20億円、11年間積み立てるとしています。しかし建設後100年近く使う施設です。世代間の負担平準化が必要です、そのため起債(借入)による財源割合が25%で良いのかも問われます。小中学校、区民施設の整備を最優先にした計画にすることがいま求められているのではないのでしょうか。

庁舎建て替えは区民合意が大前提 丁寧な情報提供と意見聴取をさいごまで

建て替え時期先送りの検討が始まっただけに、財政負担も含め区民に示すべきです。公共施設等総合管理計画と学校長寿命化計画の見直しが確定した後、庁舎整備スケジュールが確定します。いま自治体の役割「住民福祉の向上」を前提にした議論が必要なときです。区民合意が大前提、丁寧な情報提供と意見聴取を求めます。

荒川区議会9月会議スタート 本会議質問します

14日から荒川区議会9月会議が始まります。日本共産党区議団からは14日昼頃に横山区議、15日午前中に私が本会議質問します。中小事業者賃上げ直接支援、気候変動対策、スポーツや文化・芸術分野への支援について質問をする予定です。傍聴できますので、ぜひお越しください。



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級設置へ 区立第七中学校 2028 年度から



近年、荒川区立小中学校で自閉症を含む発達障害などの児童生徒の人数が大幅に増加しています。今年、「特別支援教室」で指導を受けている小学生は526名、中学生は118名。5年前と比べると小学校1.6、中学校1.8倍になっています。

通常の学級に在籍しながら「特別支援教室」での週一回の指導のみでは課題改善が困難な場合が多く、保護者からも区内での「自閉症・情緒障害特別支援学級」設置を求める声が多く寄せられていました。日本共産党荒川区議団も本会議をはじめ、議会の場で設置を求めてきました。

に設置することを決めたと区から報告がありました。

校舎1階に自閉症・情緒学級教室を2室設、カームダウンスペース1室、学級担任職員室1室を整備するそうです。現在生徒会室、PTA会議室や倉庫があるあたりに教室などを設置する案が出ています。生徒会室やPTA会議室などは、校内の他の場所に移設する予定だそうですが、それぞれの活動に影響がないよう、十分な配慮が求められます。

来年2月以降に七中保護者への説明、5月上旬に希望者対象の保護者説明会などが行われる予定です。

生徒16名以内、教員3名、支援員など4名と想定していますが、絶対数が不足しています。小学校での早期設置も含め、引き続き求めていきたいと思えます。ご意見をお寄せください。



9月3日の文教・子育て支援委員会で2028年4月から荒川区立第七中学校

敬老の日 元気で長生きを応援 100歳以上90人

21日(月)は敬老の日。区内の100歳以上の方は90人(男7人・女83人)、105歳以上は6人です。100歳以上の方は圧倒的に女性が多数です。

75歳以上の方の割合は、西尾久・町屋などが15%前後で比較的多く、日暮里地域は約10%で少なめです。各地域の高齢者施設や住宅状況など、実情に寄り添った支援の検討が必要そうです。引き続き、みなさんの元気で長生きを応援したいです。

荒川区が敬老のお祝いを贈呈

荒川区は数え年で白寿・米寿・喜寿を迎える方に、区内共通お買い物券を贈呈しています。7日(月)から順次郵送しますが、受け取れなかった方は10月1日(木)～10月30日(金)まで区役所2階の高齢者福祉課でお渡します。また、満100歳の方に5万円・100歳以上の方に1万円のお祝い金の贈呈も。

【問合せ】高齢者福祉課 高齢者福祉係 ☎3802-3111(内2677)

9月15日～21日 60歳以上の方は都施設無料

この期間、該当の方は六義園や向島百花園など都立庭園の入園料等が無料になります。

9月21日(月)のみ都立美術館も無料で入館できます。対象の施設など詳細は都ホームページ(右QRコード)からご確認ください。



日時 **9月18日(金)** 18:30～20:00

会場: **北村あや子事務所**

TEL. 3894-6668 要予約

生活のこと仕事のこと、一人で悩まず相談を

